

4. 今後の町会・自治会への加入促進支援施策

区内のマンション内の地域課題や組織運営の課題、町会・自治会など地域コミュニティの活動実態などを把握・整理することができたため、今回の調査結果および令和3年度町会・自治会活動活性化促進調査の結果を踏まえ、今後の町会・自治会への加入促進支援施策について、以下のとおりまとめた。

	R4調査結果	加入促進支援策	具体例
(1) 条例の認知度向上	「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」について、約9割が条例の存在や内容を認識していなかった。 (問24)	条例の趣旨をより分かりやすく、簡単に理解してもらえるような広報物等を工夫する必要がある。	・条例リーフレットの改訂 ・条例リーフレットの配布・活用方法の見直し
(2) 町会とマンションの関係構築推進	町会・自治会への加入状況は「マンション管理組合として加入」が52.2%、「住民が個別に加入」が23.9%という結果だった。 (問14) マンション全体で加入していない理由については、「組合員の同意が得られない」が75.0%と最も多かった。 (問19)	マンション居住者が個別で町会へ加入することが可能であることが分かるよう引き続き周知を行う必要がある。 また、マンションの町会加入率を向上させるために情報伝達のデジタル化が一助となることから、区としても町会・自治会のデジタル化を一層支援する必要がある。	・マンション居住者向け加入促進チラシの作成 ・町会・自治会活動のデジタル化促進の支援
(3) 地域交流およびコミュニティ活動の活性化	(1)マンション内の「住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっている」という回答が多かった一方で、コミュニティ活動について、「活発にすべきだと思う」が71.4%であった。 (問9、問12) (2)町会・自治会に期待することについて「防災対策」「高齢者世帯支援」「祭り・イベントの開催」などが挙げられている。 (問18) (3)「令和3年度町会・自治会活動活性化促進調査」のヒアリング調査では補助金メニューが細分化され、申請方法や内容が複雑でわかりづらいという声があった。	(1)伴走型支援の中で町会・自治会が実施するイベントのテーマの付加価値の創出を行う。 コンサルタントがマンションへの働きかけの支援を行うなど町会とマンションの話し合いの場の設定を行う。 専門講師を招くなど町会・自治会テーマ別交流会の開催方法を工夫する。 (2)イベント等の開催を促すため補助制度の見直し・整理や町会・自治会運営事務サポートを活用する。	・マンション居住者の参加率が向上するような町会・自治会へのイベント支援 ・マンションと町会の意見交換の場の設定 ・町会・自治会のテーマ別交流会の実施・工夫 ・マンションと町会の防災訓練の共同実施 ・マンション居住者である高齢者の見守りへの町会・自治会の支援 ・補助制度の見直し・整理 ・町会・自治会運営事務サポートの充実

令和4年度 マンション管理組合等 実態調査 報告書

概要版



1. 調査の概要

(1) 調査の目的

全区的に増加傾向にあるマンション居住者に対しては、多くの町会からアプローチが難しいという意見があり、一部の町会では直接マンション管理組合や管理会社、管理人等へ連絡を取り、積極的な呼びかけや交渉を行っているものの、加入促進に繋がっていない。

そこで、マンション居住者の新規加入促進を進めるため、マンション管理組合等の町会や地域コミュニティの活動に対する意識・意向を把握し、今後の施策に反映することを目的として調査を実施した。

(2) 調査の内容と方法

マンション管理組合アンケート調査の実施

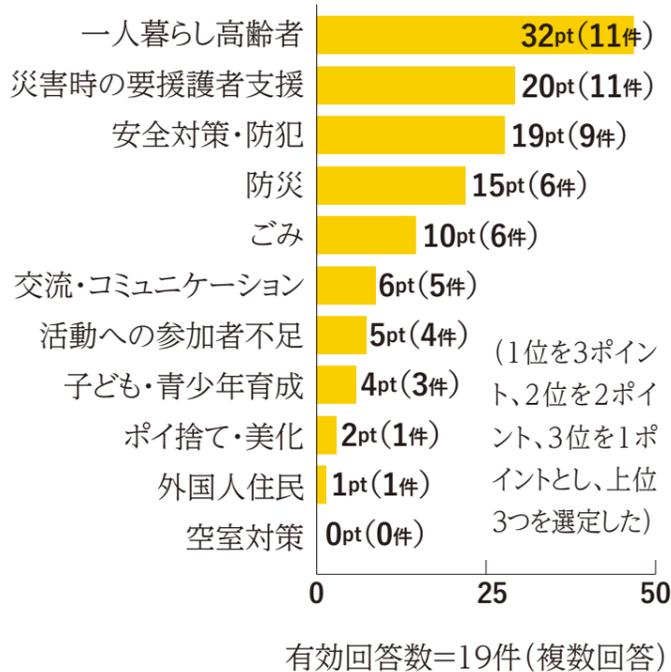
マンション居住者の新規加入促進のため、「区内のマンション(100戸以上の共同住宅と定義)の管理組合や管理会社」を対象に、町会や地域コミュニティの活動に対する意識・意向を把握し、今後新たな町会・自治会への支援策を検討するための基礎資料とするためのアンケート調査を実施した。

- 実施期間：令和4年8月10日(水)～令和4年9月16日(金)
- 調査方法：郵送
- 調査対象：区内のマンション(100戸以上の共同住宅) 208件
- 回答率： 22.6%(47件)

2. アンケート調査結果(抜粋)

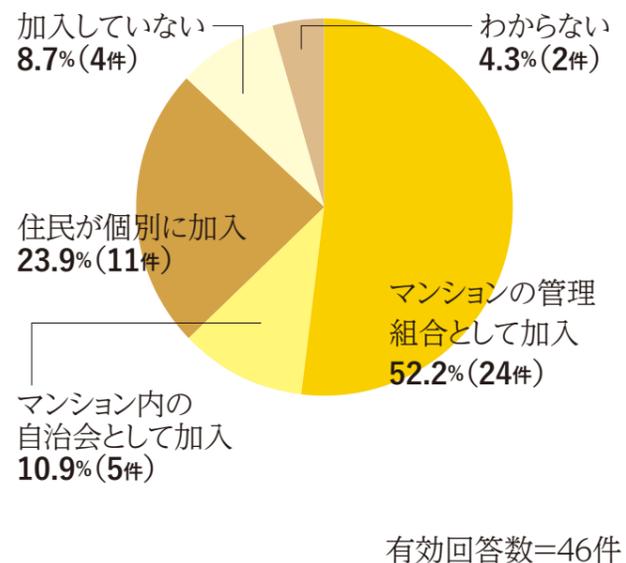
マンション内の重要な地域課題(問9)

「一人暮らし高齢者」が32ポイントと最も多く、「交流・コミュニケーション(住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっている)」が6ポイント、「外国人住民(外国人住民に関するコミュニケーション等の問題)」が1ポイントである。



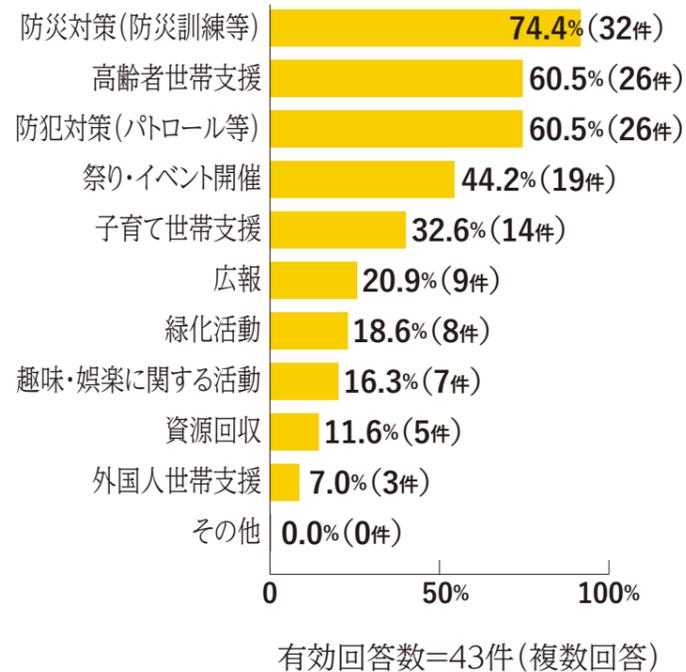
町会・自治会への加入状況(問14)

「マンションの管理組合として加入」が最も多く52.2%、次いで「住民が個別に加入」が23.9%である。一方、「加入していない」は8.7%である。



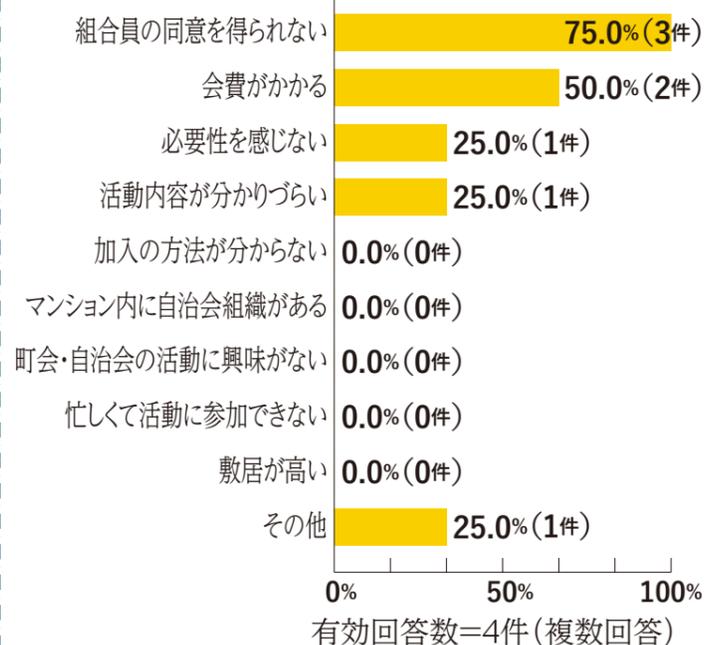
町会・自治会に期待すること(問18)

「防災対策(防災訓練等)」が最も多く74.4%、次いで「高齢者世帯支援」と「防犯対策(パトロール等)」が60.5%である。



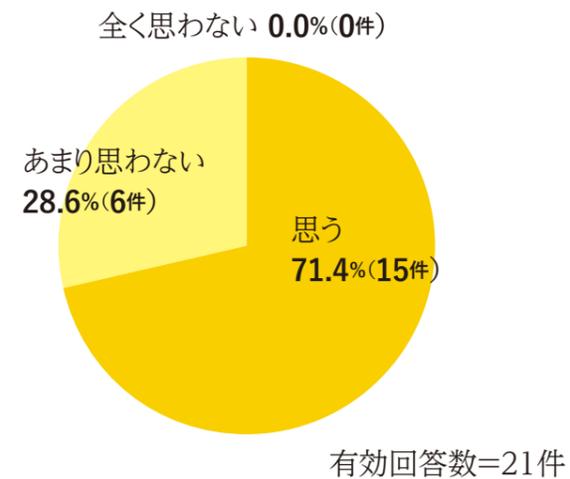
町会・自治会に加入していない理由(問19)

「組合員の同意を得られない」が最も多く75.0%、次いで「会費がかかる」が50.0%である。



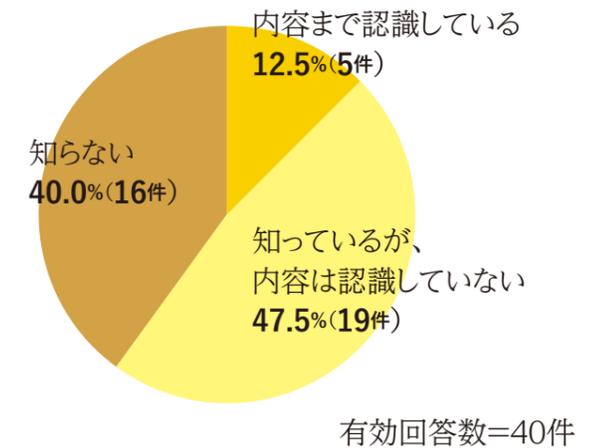
マンション内のコミュニティ活動(問12)

「活発にすべきだと思う」が71.4%で7割以上を占める。「全く思わない」の回答は無い。



「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」の認知度(問24)

「知っているが、内容は認識していない」が最も多く47.5%である。



3. アンケート調査結果まとめ

(1) マンション内の課題

- マンション内で特に重要な地域課題は「一人暮らし高齢者」が最も多く、次いで「災害時の要援護者支援」、「安全対策・防犯」、「防災」であった。
- 町会・自治会に期待することに対しても地域課題同様に、「高齢者世帯支援」「防犯対策」「防災対策」が過半数以上を占める結果となった。

(2) マンション内の情報伝達手段

- 居住者又は管理組合員に対する情報伝達の手法として、「掲示板」や「各戸配布」が最も多く9割以上を占めていた。また、「WEB・メール」が33.3%、「回覧板」が23.8%であった。

(3) マンション内のコミュニティ活動/地域交流

- マンション内のコミュニティ活動について、「活発にすべきだと思う」が71.4%、「あまり思わない」が28.6%、「全く思わない」は0%であった。

(4) 町会・自治会への加入状況

- 「マンション管理組合として加入」が52.2%と最も多く、次いで「住民が個別に加入」が23.9%、「マンション内の自治会として加入」が10.9%、「加入していない」が8.7%、「わからない」が4.3%であった。
- 町会・自治会に加入している場合の加入理由について、「設立当初から加入」が68.4%と最も多く、次いで「町会・自治会からの声掛け」が23.7%であった。町会・自治会から声掛けがあった場合、その方法は主に「訪問」「案内パンフレットの送付」「イベント等での勧誘」であった。
- 一方、加入していない理由については、「組合員の同意を得られない」が75.0%と最も多く、次いで「会費がかかる」が50.0%であった。その他に、「必要性を感じない」「活動内容が分かりづらい」などの回答も若干あった。

(5) 区の施策について

- 「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」の認知度について、「内容まで認識している」が12.5%、「知っているが、内容は認識していない」が47.5%、「知らない」が40.0%であった。